

## ● 地域提案型

## 平成20年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	フィジー
2. 事業名	水難救助技術研修 Water Rescue Training
3. 事業の背景と必要性	<p>松阪地区広域消防組合は、フィジー諸島共和国を対象に、平成20年度まで、長年にわたり消防技術普及活動を実施してきた。この中で、日本で研修を受けた消防官や専門家派遣時に研修を受けた消防官の消防技術は、年々向上している。しかし、その技術をフィジー国家消防庁および全国の所管署にフィードバックできていない。</p> <p>今後、フィジー国家消防庁の消防力の向上を図るためには、所管消防署内の指導体制の確立が重要課題となっている。そのためには、指導員の派遣により、過去に日本（松阪）で研修を受けた研修員を核としつつ、指導者の育成及び指導方法の改善を実施していく方が効率的である。</p> <p>当消防組合が実施してきた技術普及活動をフィジー国家消防庁全体にフィードバックさせるため、専門家の派遣により、現地の消防官による技術指導の補助を中心として指導技術の向上を図る必要がある。</p>
4. 事業の目的	フィジーの各消防署で、自力により現在保有する資機材を生かしての訓練や講習会を立案し実行できる環境や体制を確立し、幅広い知識を備えた消防官を増加させる。
5. 対象地域	フィジー国（スバ、ランバサ）
6. 受益者層	フィジー国家消防庁の本部及び地方分署の消防隊員
7. 活動及び期待される成果	<p>【活動】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 専門家を派遣し、現地の職員が企画した水難救助の訓練の確立に向けて、指導方法・訓練内容を評価し、助言および補完的な技術指導を行う。</li><li>2) フィジー国家消防庁および所管消防署内での日常業務における訓練の実施状況等を確認して、訓練内容や指導内容に助言・指導を行う。</li></ol> <p>【期待される成果】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 訓練を実施した消防署内で、水難救助の訓練指導者が、訓練の計画方法、指導技術・知識を習得する。</li><li>2) 訓練を実施した消防署内で、水難救助の訓練カリキュラムが完成する。</li><li>3) フィジー国家消防庁および所管消防署内での研修体制が改善される。</li></ol>
8. 実施期間	平成21年11月～平成21年3月
9. 事業の実施体制	松阪地区広域消防組合が、専門家の派遣により、フィジー人研修員による水難救助を中心とする現地訓練を支援する。帰国後はフィジー国家消防からの求めに応じ、メール等により組織体制や訓練運営等に関する助言を行う。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	松阪地区広域消防組合（三重県松坂市）
2. 対象国との関係、協力実績	平成15年度から20年度までの研修員受入、専門家派遣において、消火・救助訓練に関する幅広い消防知識と活動の迅速性・確実性・安全性を技術移転した。帰国研修員は、技術普及活動を実施し、消防官のレベルアップに努めている。